



千葉県誕生150周年



千葉県 県土整備部 港湾課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

TEL 043-223-3835 FAX 043-227-0928

E-mail: kousin2@mz.pref.chiba.lg.jp

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/kouwan/chibanokouwan/index.html>



PORT OF KISARAZU 2023-2024





木更津港の概要

木更津港は江戸時代より、木更津と江戸日本橋とを結ぶ海運の要として栄えてきた歴史ある港です。東京湾の東岸のほぼ中央に位置し、木更津市、君津市及び富津市の3市にまたがり、海岸延長は約 28km、港湾区域面積は約 7,300ha に及んでいます。

昭和 43 年 4 月に重要港湾の指定を受け、横浜港・川崎港・東京港・千葉港と並んで首都圏の発展に寄与してきました。

また、京葉臨海工業地帯の一翼を担う工業港として、重点整備が進められ臨海部に立地する鉄鋼業などに関連した外貨貨物や、砂・砂利等の内貨貨物が中心に取り扱われ、これまで、東京国際空港(羽田空港) 拡張整備事業など東京湾内の大規模なプロジェクトに貢献してきました。

近年では、海外向けの中古自動車や中古建機等、取扱貨物の多様化が進み、既存の物流岸壁を活用したクルーズ船の誘致活動が推進されるなど、千葉県南部地域における経済社会の基盤として重要な役割を果たしています。

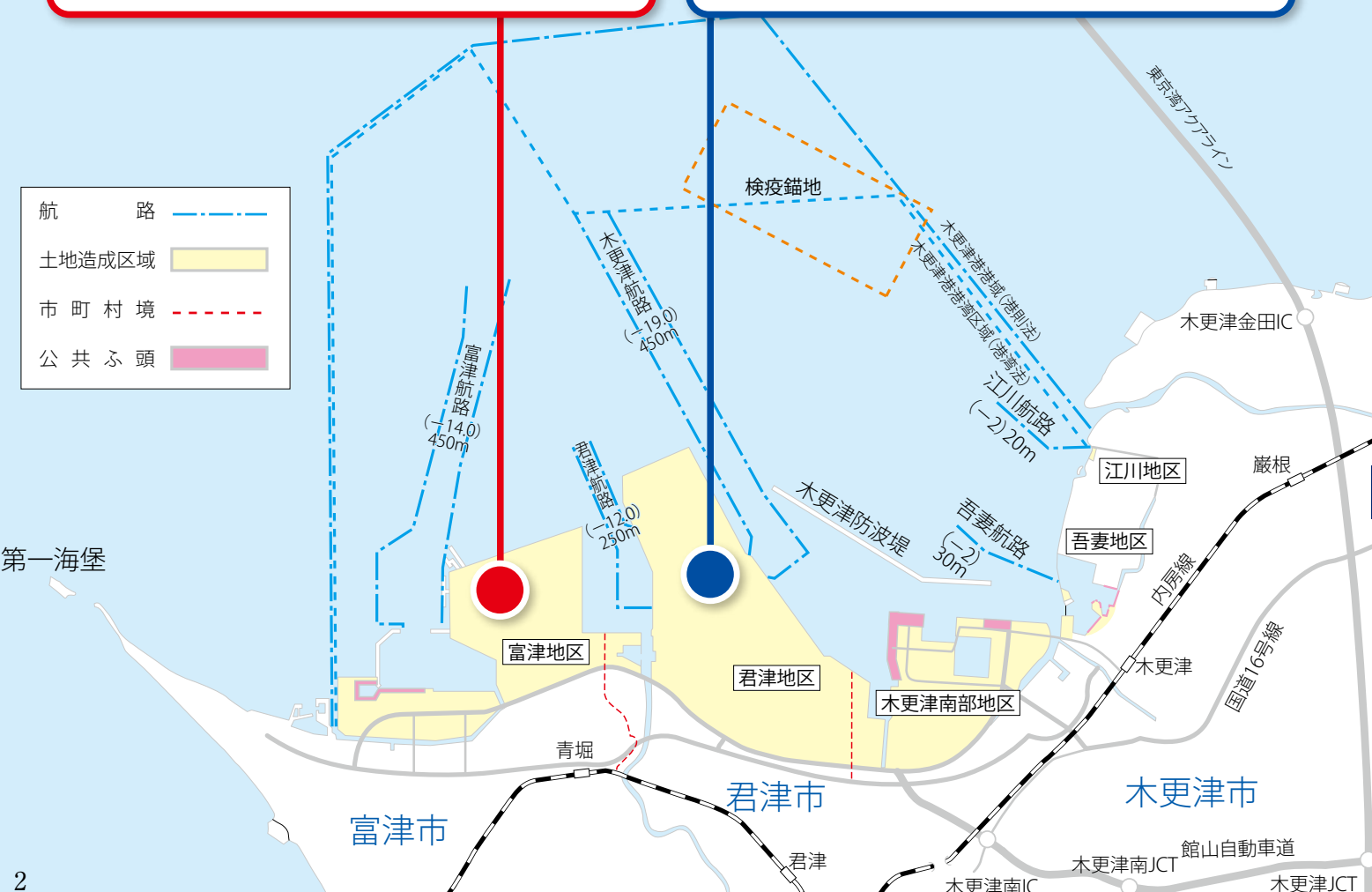
株式会社JERA 富津火力発電所

- 最大出力：516 万 KW
 - LNG 貯蔵能力：136 万 KL
- 木更津港富津地区に立地している。火力発電所としては、世界でも最大級の火力発電所である。



日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 君津地区

- 粗鋼生産量：638.2 万トン/年 (令和 4 年度実績)
- 木更津港君津地区に立地している。世界最大級の高炉設備を有し、日本の鉄鋼生産の一翼を担い続けている。



特色を持った各地区

吾妻地区 ~賑わいと親水ゾーン~



吾妻地区は、木更津港発祥の地で木更津市の海の玄関口であり、中心市街地に隣接する立地条件を活かした地域住民の憩いの場として、緑地を中心としたレクリエーション施設・旅客船埠頭施設・物揚場等の施設整備が計画されています。

吾妻地区にある内港公園は、中心市街地に接する臨海広場で、「みなとオアシス木更津」を構成する施設の1つでもあり、イベント時の交流スペースとして活用されています。

みなとオアシスとは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して、住民参加型の継続的な地域振興に関わる取組みが行われる交流拠点のことです。「みなとオアシス木更津」は、平成 20 年に首都圏初となるみなとオアシスの認定を受けました。

木更津港内港で毎年行われる“木更津港まつり”は多くの見物客で賑わいます。



木更津港まつり花火大会

江川地区 ~漁業生産ゾーン~

江川海岸は木更津港の最も北寄りに位置した地区であり、全面に広がる浅場・干潟を利用した海苔・あさりの漁業生産基地です。

千葉県では、船の安全な航行の確保を図るべく、航路の維持浚渫等を実施しています。



上空から見る江川地区

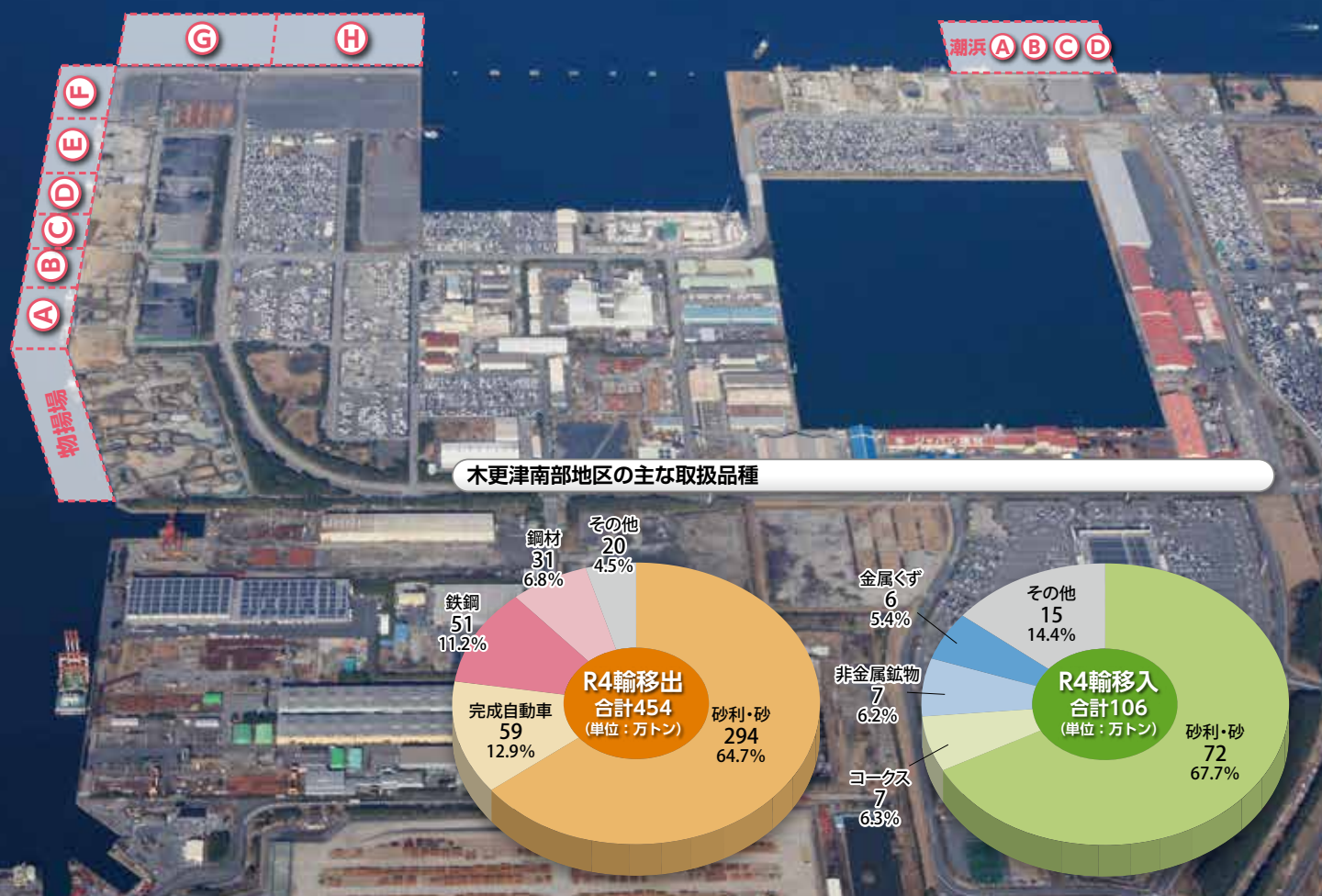


潮干狩りの様子



特色を持った各地区

木更津南部地区 ~物流関連ゾーン~



●木更津南部地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物 (R4)
	延長 (m)	所定水深 (m)	エプロン幅 (m)	対象船舶 (D/W)	
木更津埠頭物揚場	362	- 4.0	10.0	500	砂利・砂
A岸壁	90	- 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
B岸壁	90	- 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
C岸壁	90	- 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
D岸壁	90	- 5.5	15.0	2,000	砂利・砂
E岸壁	130	- 7.5	20.0	5,000	砂利・砂
F岸壁	130	- 7.5	20.0	5,000	コークス
G岸壁	240	- 12.0	20.0	30,000	完成自動車
H岸壁	260	- 12.0	20.0	30,000	完成自動車
潮浜埠頭A・B・C・D岸壁	240	- 4.5	15.0	700	砂利・砂

木更津南部地区は、公共岸壁を中心とした物流拠点として、物流生産・都市機能などが集約されています。

内貨貨物として、県内で産出される砂利・砂を建設用材として関東近県に移出するとともに、他地域からの受入れも行っており、木更津港の主要貨物として地域の経済活動を支えています。

また、外貨貨物に対応するため、平成8年4月には木更津埠頭G岸壁、平成20年3月には木更津埠頭H岸壁を供用開始し、30,000D/W級の船舶が接岸できるよう整備されました。近年では、完成自動車（中古自動車）の輸出が活発であり、ニュージーランドやアフリカなどへの輸出拠点へと成長しつつあります。また、大型クルーズ船の誘致や伊豆大島への高速ジェット船の実証実験など、港を活かした街の活性化の取組も進められています。



砂利・砂の荷役



中古自動車の荷役



木製品の荷役



クルーズ船の入港



富津地区 ~エネルギー関連ゾーン~

富津地区は、(株)JERA富津火力発電所や日本製鉄(株)の研究施設などが稼働し、エネルギー供給基地として重要な役割を果たしています。

公共ふ頭では、主に金属製品や鉄鋼、産業機械などの内貨貨物が取り扱われており、F岸壁では、大規模災害時に円滑な緊急物資などの輸送機能を確保するため、耐震強化岸壁が整備されています。

また、地区内には、「富津みなと公園」が整備され、園内には多目的運動広場や展望広場があります。

●富津地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物 (R4)
	延長 (m)	所定水深 (m)	エプロン幅 (m)	対象船舶 (D/W)	
A・B・C・D岸壁	360	- 5.5	15.0	2,000	金属製品
E岸壁	130	- 7.5	20.0	5,000	鉄鋼
F岸壁	130	- 7.5	20.0	5,000	産業機械
物揚場	857	- 4.0	10.0	500	-



富津みなと公園



君津地区 ~鉄鋼生産ゾーン~

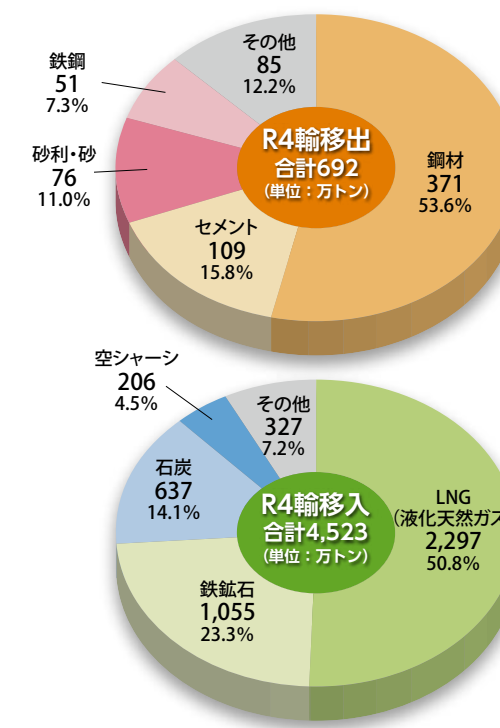
君津地区は、主に日本製鉄(株)東日本製鉄所及びその関連企業の専用岸壁として利用されており、木更津港の取扱貨物量の大半を占めています。

主に、鉄鉱石や石炭がオーストラリアなどから輸入され、鋼材などがメキシコやインドネシアなどへ輸出されています。



日本製鉄(株)東日本製鉄所 君津地区

富津～君津地区の主な取扱品種





優れたアクセス性



木更津港は、東京湾アクアライン、首都圏中央連絡自動車道、京葉道路、館山自動車道、富津館山道路といった道路交通網が充実しています。

千葉県の南部や東部はもちろん、首都圏各地からのアクセスも良く、また、空の玄関口である成田国際空港や東京国際空港（羽田空港）とも高速道路などで直結しています。

2018年6月には東京外かく環状道路の三郷南ICから高谷JCTまでの区間が開通したところです。また、中央道大栄JCTから松尾横芝ICの開通が予定されており、北関東からのアクセスもますます向上します。

海上輸送での大量かつ安価での輸送、航空輸送による迅速な輸送、充実した道路交通網を活かした陸上輸送と、木更津港の高い利便性を是非御活用ください。



東京湾アクアライン



成田国際空港
提供：成田国際空港株式会社

木更津南部地区公共ふ頭からの距離・所要時間・料金

主要都市	最寄りIC	経路	IC間		高速料金 (特大大車・ETC2.0料金)
			陸上距離	通常時間	
群馬県前橋市	前橋	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高-外環-関越自動車道	165.1km	2時間25分	14,510円
栃木県宇都宮市	鹿沼	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高-東北自動車道	175.5km	2時間6分	16,110円
茨城県水戸市	水戸	館山自動車道-京葉道路-東関東自動車道-外環-常磐自動車道	156.1km	1時間59分	14,630円
埼玉県さいたま市	浦和南	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高	77.0km	1時間17分	8,210円
東京都新宿区	新宿	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高	59.7km	56分	6,630円
東京国際空港	空港中央	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高	36.1km	31分	4,530円
神奈川県横浜市	本牧ふ頭	館山自動車道-東京湾アクアライン-首都高	47.1km	38分	4,980円
千葉県千葉市	松ヶ丘	館山自動車道-京葉道路	39.7km	27分	3,120円
千葉県茂原市	茂原長柄スマート	館山自動車道-圏央道	41.8km	36分	3,280円
千葉県館山市	富浦	館山自動車道-富津館山道路	44.2km	34分	3,920円
成田国際空港	新空港	館山自動車道-京葉道路-東関東自動車道-新空港自動車道	81.4km	52分	6,690円

※1 距離・所要時間・料金の検索：E-NEXCOドライブプラザによる
 ※2 木更津南ICから、各主要都市の市役所等最寄りICまでの距離・所要時間・料金を表示（2023年8月1日8:00出発）



歴史ある港 木更津港

◆江戸時代

～木更津港の発祥～

木更津港は、現在の内港である吾妻地区において、慶長19年(1614年)に江戸幕府と豊臣家との間で行われた合戦「大坂の役」における勲功によって、地元の回船業者が江戸幕府から江戸府船町と木更津間の渡船営業権を与えられたことになり、江戸時代から当地方の物資集散港として繁栄しました。

～木更津船と海上輸送～

当時の海上輸送で活躍したのが木更津と江戸を往来した小廻しの廻船である木更津船の花形「五大力船」です。年貢米など豊富な物資を輸送していたこの船は、幅は狭く、船底から水面までを浅く平らにするなど、海川両用の様々な工夫が施されていました。

物資の輸送だけでなくとどまらず、風向きが良ければ江戸まで日帰りできることや、房州へ続く街道があったことから、多くの旅人も往来。浮世絵師の歌川広重や葛飾北斎、俳人の小林一茶なども木更津船を利用して頻りに訪れ、江戸の流行や風俗が盛んに流入するなど、木更津の発展に繋がりました。



木更津船(五大力船)
提供:木更津市立図書館

◆明治～大正～昭和時代

明治12年には、木更津と東京及び横浜間に定期船が就航しましたが、大正元年に蘇我・木更津間に鉄道が開通したことにより、海運は次第に衰退し、さらに大正6年に関東一帯を襲った台風により港は壊滅、定期船も廃止となりました。

～木更津港内港の成立～

大正15年、内務省告示により公有水面埋立法に基づく指定港となり、港としての本格的な修築は昭和7年から始められました。

昭和9年に港の北側に木更津海軍航空隊の飛行場が建設されるのに伴い港湾工事も大型化し、昭和12年には航路、泊地、防波堤、護岸が完成し、ほぼ現在の木更津港内港(吾妻地区)の形態が整いました。



大正期の木更津内港の様子

「富士見六景 木更津海岸」定方塊石作
提供:木更津市郷土博物館のすず

「千葉縣木更津町鳥瞰」松井天山作(昭和四年一月写生)



提供:木更津市郷土博物館のすず

◆木更津内港

左図は、木更津内港(現在の木更津港吾妻地区)の鳥瞰図です。

図中央上寄りに木更津駅があり、港に向かって街並みが広がっている様子が確認できます。

図の中央下には、海の中に鳥居が確認でき、この周辺が遠浅であることがわかります。

かつて、港の整備が進む前は、船は沖合で停泊し、はしけが渚との間を連絡し、干潮時には「海中人力車」が干潮を走って客の送迎をする光景も見られた(「千葉県史(明治編)」)との記述もあります。

また、しかけが設置されている様子から漁業が盛んであったことが伺えます。

◆昭和時代

～重要港湾に指定～

戦後、昭和25年5月に港湾法制定に伴い、昭和28年に地方港湾に指定され、これに基づき千葉県が木更津港の港湾管理者となりました。

昭和36年、君津地区に八幡製鉄(株)(現:日本製鉄(株))が進出し、外航船が入出港するようになりました。また、昭和40年には横浜及び川崎を結ぶカーフェリーが就航し、昭和43年4月には国の重要港湾に指定されました。

やがて、木更津港内港は背後地である木更津市が商工観光都市として繁栄するとともに狭あい化したため、港湾再開発を目的として木更津南部地区に公共ふ頭などの整備が計画されました。当地区は、昭和43年から約460haの埋立が開始され、建設資材、林産品類、金属品等を取り扱うふ頭として整備されました。

主要航路である木更津航路については、昭和44年から整備が開始され、昭和48年に完成し(水深-19m、幅員450m)、翌昭和49年には港則法に基づく法定航路に指定されました。

～港湾区域の拡張～

昭和52年、港湾区域の拡張により、富津地区の地先海域が木更津港に編入され、昭和60年には、富津航路が港則法上の指定航路となり、同年12月に東京電力(株)(現:(株)JERA)富津火力発電所が操業を開始しました。



木更津港フェリー発着場(昭和46年)
提供:木更津市立図書館



木更津南部地区(昭和58年)



昭和36年 木更津港吾妻地区



平成29年 木更津港吾妻地区

◆平成時代

～物流機能の強化・拡充～

平成に入ると、更に港湾施設・緑地整備が進むとともに、周辺の交通網も整備されました。平成9年には東京湾アクアラインが開通し、これに伴いフェリー航路は廃止となりました。

平成18年3月、公共ふ頭の利用促進と物流における企業コスト削減を目指して、陸上輸送の規制を緩和する「木更津港湾物流効率化特区」に認定されました。これにより、特殊な大型車両を利用した効率的な貨物輸送が実現されました。

平成20年4月には、3万トン級の貨物船が接岸可能な大型公共岸壁(-12m)の2バース目が供用開始となり、同年8月から中古自動車の輸出が開始されました。

さらに、鉄鋼業の国際競争力強化を図るため、平成23年5月に「国際バルク戦略港湾」に選定されています。

また、平成28年より、近年のクルーズ船寄港の需要増加を背景に、国の直轄事業においてクルーズ船受入れ環境が整備され、平成29年以降、クルーズ船「ばしふいっくびいなす」が寄港しています。平成30年12月には、木更津市がクルーズオブザイヤー2018特別賞を受賞しました。



データで見る木更津港

入港船舶・取扱貨物量 年次別比較表

年次	外航		内航		計	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2018	1,052	45,060,286	15,999	9,984,299	17,051	55,044,585
2019	1,052	45,484,355	15,538	9,758,985	16,590	55,243,340
2020	888	40,609,174	14,384	8,702,288	15,272	49,311,462
2021	1,015	46,866,132	15,647	9,884,153	16,662	56,750,285
2022	906	44,625,633	14,628	9,247,677	15,534	53,873,310

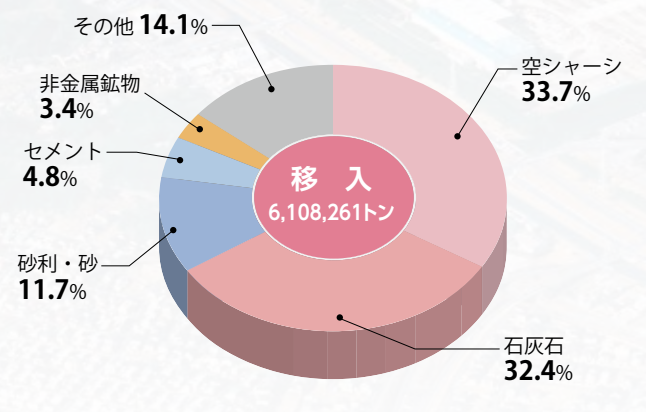
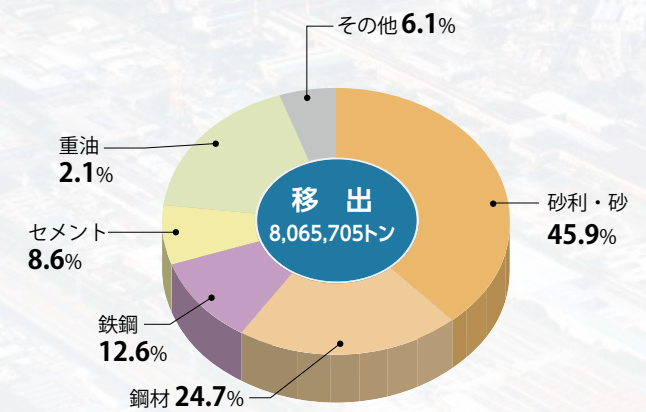
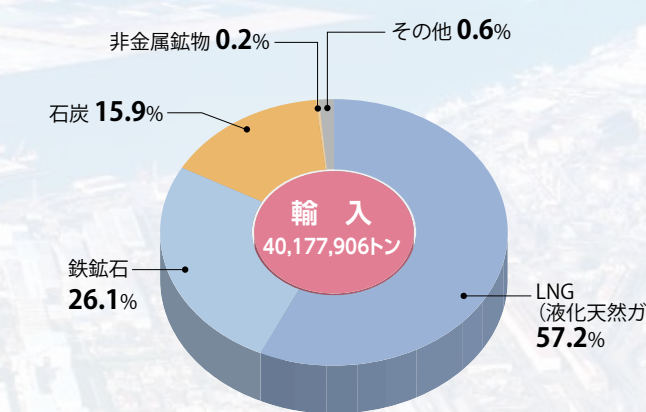
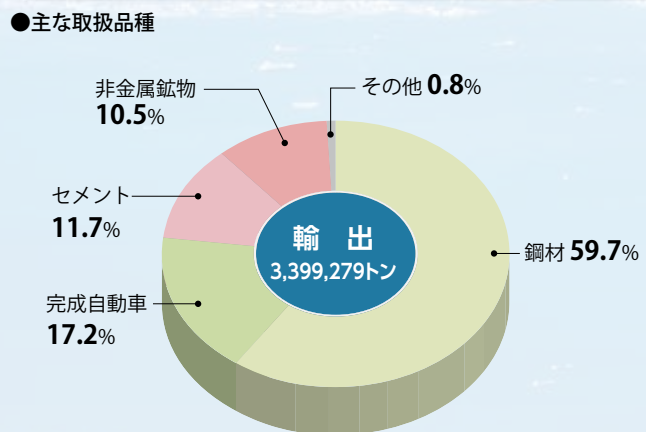
取扱貨物量 (単位:トン)

年次	外国貿易		内国貿易		計
	輸出	輸入	移出	移入	
2018	3,978,240	42,407,961	8,828,331	7,870,387	63,084,919
2019	3,620,172	40,957,419	9,035,016	6,930,415	60,543,022
2020	2,744,370	35,699,201	8,129,230	5,528,168	52,100,969
2021	4,052,458	42,239,883	8,868,528	6,831,968	61,992,837
2022	3,399,279	40,177,906	8,065,705	6,108,261	57,751,151

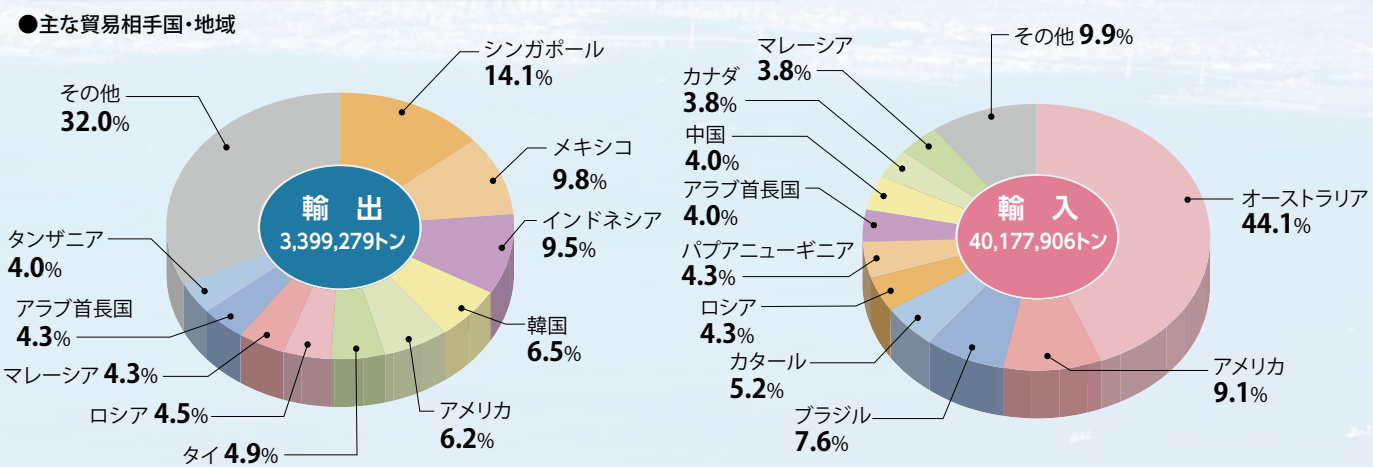
貿易額 年次別比較表

年次	輸出		輸入		計
	輸出	輸入	移出	移入	
2018	2,849.5	8,715.9			11,565.4
2019	2,401.1	9,248.6			11,649.7
2020	1,893.0	6,762.2			8,655.2
2021	3,035.2	11,545.0			14,580.2
2022	3,665.6	21,564.6			25,230.2

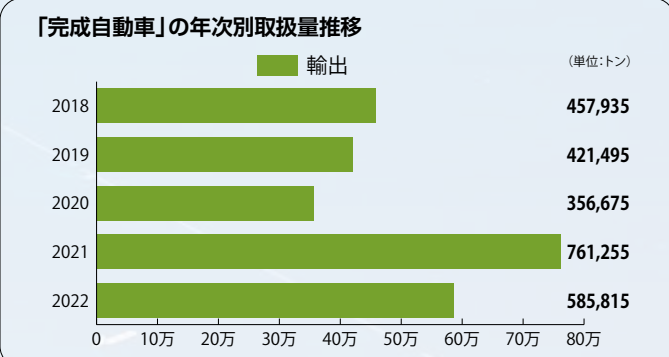
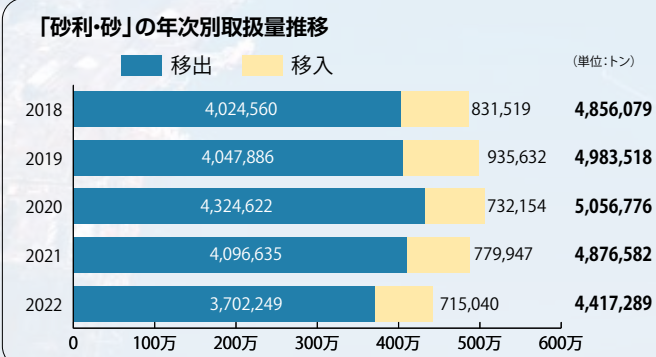
2022年(令和4年) 主な取扱品種



2022年(令和4年) 主な貿易相手国



主要な取扱品目



※その他の石油製品…原油を精製することによって生産される軽油、灯油、ジェット燃料等
 ※本冊子のグラフにおける構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

出典 ・木更津港の統計データ：千葉県港湾統計年報（令和5年9月公表）より
 ・貿易額：横浜税関内貿易概況より

木更津港関係官公庁及び諸団体

名称	住所	TEL	名称	住所	TEL
千葉県土整備部港湾課	千葉市中央区市場町1-1	043-223-3835	横浜税関千葉税関支署 木更津出張所	木更津市富士見2-4-14 (木更津地方合同庁舎内)	0438-25-6781
千葉県木更津港湾事務所	木更津市貝渕3-13-34	0438-25-5141	木更津港運協会	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-37-0921
国土交通省関東地方整備局 千葉港湾事務所	千葉市中央区中央港1-11-2	043-243-9172	木更津港港湾運送事業協同組合	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-36-7714
国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局	千葉市美浜区新港198	043-242-7336	千葉県内航海運組合	木更津市桜井1600-4 (港湾労働者福祉センター内)	0438-37-2847
千葉海上保安部	千葉市中央区中央港1-12-2 (千葉港湾合同庁舎内)	043-301-0118	東京湾水先区水先人会 木更津事務所	木更津市新港8-5	0438-36-0700 (本部:045-650-3180)
千葉海上保安部 木更津海上保安署	木更津市新港8-2 (木更津港湾合同庁舎内)	0438-30-0118	(一社)木更津港湾愛護協会	木更津市中央3-3-8	0438-25-1410